

審議事項 1 評価指標の考え方について

【審議事項】

「(仮称) 旭川市ジェンダー平等プラン基本方針」で方針を確認した内容について、特に新たに設定した項目や未定となっていた項目について、目標設定の考え方について問題はないか。(評価指標はプランの進捗状況を判断する指標となる値)

※現行計画での状況は R7.4 時点のもの

※(新)：新たに設定した項目 (更)：評価指標は現行計画を引き継いでいるが、目標値を更新した項目

<基本目標Ⅰ ジェンダー平等の実現に向けた意識改革の促進>

基本的方向 1 人権尊重とジェンダー平等の視点に立った意識改革



評価指標	現状値	目標値	現行計画での状況	【審議事項】 目標設定の考え方
性別に基づく固定的役割分担の考え方に反対の人 ※反対・どちらかといえば反対	66.1% (R6)	71.1% (R11)	○達成	【変更(目標達成)】 1年1%の上昇を目指す
男女共同参画社会の形成についての満足度 ※満足・まあまあ満足	11.3% (R5)	15.6% (R11)	×未達成	目標未達成のため、現計画の目標値を継続

<基本目標Ⅱ あらゆる分野でのジェンダー平等の推進>

基本的方向 1 働く場におけるジェンダー平等の推進



評価指標	現状値	目標値	現行計画での状況	【審議事項】 目標設定の考え方
市の附属機関等における女性委員の割合	28.8% (R6)	36% (R12)	×未達成	目標未達成のため、現計画の目標値を継続
市職員の管理職における女性の割合 ※保育士・消防職・医療技術関係職を除いた 行政職全体の割合	13.4% (R6)	30% (R12)	○達成	【変更(目標達成)】 現時点での仮の目標値。特定事業主行動計画を見据えて設定。 同計画策定後数値を差し替える。
企業の管理職における女性の割合 ※課長職以上	8.8% (R5)	15% (R11)	×未達成	目標未達成のため、現計画の目標値を継続

基本的方向2 家庭生活におけるジェンダー平等の促進

更

更

更

更

評価指標	現状値	目標値	現行計画での状況	【審議事項】目標設定の考え方
ワークライフバランスを実現できていると思う人の割合 ※18～59 歳	18.2% (R5)	22% (R11)	× 未達成	目標未達成のため、現計画の目標値を継続
市職員の年次有給休暇取得率 ※標準付与日数（20 日）に対する取得日数割合	13.8 日 (R5)	15.0 日 (R12)	× 未達成	【変更（目標達成）】 現時点での仮の目標値。特定事業主行動計画を見据えて設定。 同計画策定後数値を差し替える。
企業に勤める人の年次有給休暇取得率 ※平均取得率が 60%以上の企業の割合	35.9% (R5)	60% (R11)	○達成	【変更（目標達成）】 近年の数値の伸びの傾向が続き、60%の企業が有給取得率 60%に到達することを目標とする。
市職員の男性の育児休業取得率 ※2 週間以上	48.4% (R5)	85% (R12)	○達成	【変更（目標達成）】 現時点での仮の目標値。特定事業主行動計画を見据えて設定。 同計画策定後数値を差し替える。
企業に勤める男性の育児休業取得率 ※取得率 10%以上の企業の割合	54.2% (R5)	90% (R11)	○達成	【変更（目標達成）】 近年の数値の伸びの傾向が続き、多くの企業が育児休業取得 率 10%以上に到達することを目標とする。

基本的方向3 多様な働き方への支援

更

新

評価指標	現状値	目標値	現行計画での状況	【審議事項】目標設定の考え方
女性就業率	45.2% (R3)	48.0% (R9)	○達成	【変更（目標達成）】 旭川市まち・ひと・しごと創生総合戦略と整合性をとっている。
テレワークへの取組状況	14.6% (R5)	34.4% (R11)	今回新設定	【新規設定】 R3（21.2%）からの減少率の値が回復し、そのまま伸びていく ことを目標とする。

基本的方向4 地域におけるジェンダー平等の推進

新

評価指標	現状値	目標値	現行計画での状況	【審議事項】目標設定の考え方
地域社会において「平等になっている」と感じている人の割合	25.6% (R6)	33.3% (R11)	今回新設定	【新規設定】 まずは R1 調査（33.3%）の数値に戻すことを目指す

<基本目標Ⅲ 誰もが安心して暮らせる社会の実現>

基本的方向1 ジェンダー平等を阻害するあらゆる暴力の根絶



評価指標	現状値	目標値	現行計画での状況	【審議事項】目標設定の考え方
相談機会が確保されていると感じている市民の割合 ※充実・まあまあ充実	23.2% (R5)	30% (R9)	× 未達成	【変更（未達成だが関連計画の目標値が変更）】 総合計画（推進計画）と整合性をとっている。

基本的方向2 多様性を尊重する環境の整備



評価指標	現状値	目標値	現行計画での状況	【審議事項】目標設定の考え方
性的少数者が生きづらい社会だと思う人の割合 ※思う・どちらかといえば思う	60.7% (R6)	50% (R11)	今回新設定	【新規設定】 まずは割合を半分にするを目指す。
高齢者福祉サービス利用件数	30,683 件 (R5)	35,700 件 (R9)	今回新設定	【新規設定】 総合計画（推進計画）と整合性をとっている。
地域における障がい者への理解度 ※浸透している・少し浸透している	20.4% (R5)	22.5% (R9)	今回新設定	【新規設定】 総合計画（推進計画）と整合性をとっている。

基本的方向3 困難や不安を抱える女性への支援



評価指標	現状値	目標値	現行計画での状況	【審議事項】目標設定の考え方
自立相談支援等の件数	1,888 件 (R4)	2,077 件 (R9)	今回新設定	【新規設定】 総合計画（推進計画）と整合性をとっている。

基本的方向4 生涯を通じた健康支援



評価指標	現状値	目標値	現行計画での状況	【審議事項】目標設定の考え方
ふだんから健康のために何か取り組んでいる市民の割合	48.6% (R5)	60% (R9)	今回新設定	【新規設定】 総合計画（推進計画）と整合性をとっている。